

バランスシートから何がわかるのですか。

バランスシートは、これまでに本県が形成してきた資産（道路、公園など）と、それを調達するために使われた負債（借入金（県債）など）について対比したもので、減価償却等の企業会計的手法を取り入れて作成したものです。

平成15年度末のバランスシートは、29頁のとおりですが、主な項目について前年度と対比しました。

バランスシートの構成

- (1) 資産：地方公共団体の財産となっているもの
 - 有形固定資産：道路、公園、学校などの土地、建物等
（時価ではなく取得原価を基準に計上し、資産の区分ごとに定められた耐用年数により減価償却（定額法）を実施）
 - 投資等：財団法人等への出資金、貸付金及び用途が制限されている特定目的基金
 - 流動資産：歳計現金（形式収支） 財政調整基金、減債基金及び県税等の未収金
- (2) 負債：資産形成の財源として調達した資金のうち将来返済を要するもの
 - 県債：長期にわたって県が返済しなければならない借入金の元金
 - 退職給与引当金：年度末に県職員全員（県費負担の公立小中学校教員を含む）が普通退職したと仮定した場合に必要な退職手当総額
- (3) 正味資産：資産形成の財源として調達した資金のうち将来返済を要しないもので「資産」
- 「負債」の金額
 - 国庫支出金：有形固定資産の取得に充当した国庫支出金（減価償却後）
 - 一般財源等：税金など国庫支出金以外のもの

バランスシートの概況

- ・資産は公共投資の実施に伴い有形固定資産が増加したことなどにより1%増加し、2兆5,322億円となりました。
- ・これに対し、負債は国の地方財政対策に伴う臨時財政対策債が大幅に増加したこともあり、3%増の1兆2,580億円となりました。
- ・この結果、県の正味資産は2%減少したものの1兆2,742億円となり、引き続き資産が債務を上回っており、いわゆる債務超過の状態には陥ってはいません。

資産の状況

	H14年度 A	H15年度 B	B - A	B / A
1 有形固定資産	22,554	22,770	216	1.01
2 投資等	1,778	1,777	1	1.00
3 流動資産	828	775	53	0.94
資産合計	25,159	25,322	163	1.01

(注) 数値はすべて四捨五入しており、合計額が一致しない場合があります。

本県の平成15年度末の資産総額は2兆5,322億円で、平成14年度に比して1%増加しています。その内訳としては有形固定資産が2兆2,770億円(構成比89.9%)で一番大きく全体の約9割を占めています。そのほかには投資等が1,777億円(構成比7.0%)、流動資産775億円(構成比3.1%)です。

資産のうち約9割を占める有形固定資産の内訳は、道路・橋りょう・河川等の土木関係が60.5%、農林道・土地改良施設等の農林水産業関係が21.3%、県立高校・体育施設等の教育関係が8.4%です。

	H14年度 A	H15年度 B	B - A	B / A
特定目的基金等	626	594	32	0.95
財政調整基金	89	89	0	1.00
減債基金	550	511	39	0.93
基金合計	1,265	1,193	72	0.94

(注) 数値はすべて四捨五入しており、合計額が一致しない場合があります。

県の貯金にあたる基金は投資等に計上されている特定目的基金等が594億円、流動資産に計上されている財政調整基金・減債基金が600億円であり、合計で1,193億円となっています。

特定目的基金等が平成14年度に比して5%減少していますが、これは緊急雇用創出特別基金や市町村合併支援基金がそれぞれの目的に従って取り崩されたことなどによるものです。

負債・正味資産の状況

	H14年度 A	H15年度 B	B - A	B / A
1 県債	10,349	10,751	402	1.04
うち財源措置のあるもの	6,490	6,736	246	1.04
うち財源措置のないもの	3,860	4,015	155	1.04
2 退職給与引当金	1,845	1,829	16	0.99
負債合計	12,195	12,580	385	1.03
1 国庫支出金	6,340	6,409	69	1.01
2 一般財源等	6,625	6,333	292	0.96
正味資産合計	12,965	12,742	223	0.98
負債・正味資産合計	25,159	25,322	163	1.01

(注) 数値はすべて四捨五入しており、合計額が一致しない場合があります。

負債総額は1兆2,580億円で、このうち県債残高は1兆751億円、退職給与引当金は1,829億円ですが、この県債残高のうち約6割の6,736億円は(構成比62.7%)は、将来地方交付税等で財源措置されますので、県債の実質的な残高は4,015億円となります。

また、資産から負債を差し引いた正味資産は、平成14年度末に比して2%減少の1兆2,742億円(県債のうち実質残高のみを負債とした場合は1兆9,478億円)となっています。

以上のように、バランスシート上では資産の額(2兆5,322億円)が負債の額(1兆2,580億円)を大きく上回っており、いわゆる債務超過の状態には陥っていません。

	H14年度 A	H15年度 B	B - A	B / A	
借方資産	1 有形固定資産	22,554	22,770	216	1.01
	2 投資等	1,778	1,777	1	1.00
	3 流動資産	828	775	53	0.94
	資産合計	25,159	25,322	163	1.01
貸方負債	1 県債	3,860	4,015	155	1.04
	2 退職給与引当金	1,845	1,829	16	0.99
	負債計	5,705	5,845	140	1.02
	正味資産	19,454	19,477	23	1.00
	負債・正味資産合計	25,159	25,322	163	1.01

(注) 数値はすべて四捨五入しており、合計額が一致しない場合があります。